

# 「地域全体で子供の夢と志を育む教育」 をめざして ～心と心が通い合うふるさと絆学習～

地域の  
特色ある  
活動

## 滋賀県日野町教育委員会

### 1 はじめに

滋賀県の南東部に位置する日野町は、鈴鹿山脈の山麓から湖東平野に向かって広がっています。霊峰綿向山をはじめとする高峻な山々、なだらかな丘陵、田園広がる平野、鈴鹿山脈を水源とする日野川や佐久良川など、多様な地形から生み出される豊かな自然景観はまさに町の宝です。

人口は約 21,000 人、5 小学校 1 中学校を有しています。第 3 期日野町教育振興基本計画では確かな学力、豊かな人間性、心身の健康づくりを進めるとともに、少子高齢社会を迎える中、自己と社会のつながりを実感し、地域の実情に応じた活力ある教育・コミュニティの推進を目指しています。



町のシンボル綿向山

### 2 地域とともに学び、成長するふるさと学～日野を学び、日野で学び、日野から学ぶ～

日野町は戦国武将蒲生氏郷公の生誕地、近江商人を輩出した地域です。自然・歴史・伝統文化が豊かであることを生かし、地域の人材を活用した教育を推進しています。

合言葉は「ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持つ教育」。さらに「まち全体で地域の将来を担う子どもたちを育成する」という方針を示し、学校、家庭及び地域住民それぞれが役割と責任を自覚し、子供たちを健やかに

育む体制づくりを目指しています。

家庭科、生活科、総合的な学習の時間などでは、保護者や地域の方に学校に積極的に関わっていただき、校舎周辺の環境整備など、多岐にわたって積極的な学習支援・学校支援活動を進めています。

特に家庭科の実習では、玉止め、玉結び、ミシンの操作などが不慣れな子供たちに、お年寄りの知恵を発揮して頂いています。また地域の祭りを盛り上げるお囃子を口承で引き継ぐなど、伝統を守っているという意識をもって取り組んでいます。

地域の方々とともに作った「森のレストラン」の完成を祝って、お世話になった方々とテーブルを囲んで話はずませ、絆を深めるのは楽しい時間です。



ミシン学習の支援



日野祭囃子の伝統を受け継ぐ



楽しい森のレストラン

### 3 子供の心を耕す 読書習慣の形成

読書は情緒豊かな人間形成に欠くことのできないものです。信頼できる情報源として辞書類など文字情報を活用する力を身に付けることは生きる力の基本となります。特に子供時代に読書週間をつけることが重要であり、

読書活動の推進に力を入れています。

町では、すべての小中学校に学校図書館司書を配置しています。

いつでも開館していて、人のぬくもりを感じることのできる学校図書館、活用しやすい環境の中での利用指導、子供たちの興味・関心を引き出す確かな選書による読書指導に努めています。

また町立図書館と連携して、親子家庭読書に取り組んでいます。毎月第3日曜は親子読書の日とし、家族一緒に読書し、「わが家・わたしのお気に入りの一冊」を紹介するなどして、意欲を高めています。

「読み合いワークショップ」では、親子でおすすめの本を読み合い、感想を語り合いました。子供の声に真剣に向き合える貴重な機会になったと好評でした。

また夏休み開放日に図書館祭を取り入れた学校では、想定以上の大勢の参加があり、学校図書館は大賑わいでした。様々な工夫により、本を身近に感じ、読書習慣の形成を目指しています。



親子読書・読み合いワークショップ 夏休み図書館祭のにぎわい

#### 4 子供たちの育成と見守り～自分の命は自分で守る～

町では地域の方々の協力を得て毎年通学合宿に取り組んでいます。平成27年からは町全体の課題である防災の観点を取り入れ、防災キャンプとして、地域防災士や消防団の方々とともに避難所開設を体験しました。ダンボールベッド作成や炊き出しなどに関わり、防災について学び、自分たちができること、役立つことを見つけて行動しています。

また、学校の昇降口では多くの方々による挨拶運動が進められています。子供たちは見守られていると実感したとき、安心した柔ら

かな表情をして教室に入って行きます。



防災キャンプでの食事づくり 挨拶運動でみんな顔見知り

#### 5 おわりに

子供は学校や家庭はもちろんのこと、地域の中での人々との関わりによって、人間関係や集団のルールなど様々なことを学びながら社会性や規範意識などを育み成長していきます。学校や家庭、地域、関係機関等が連携して社会全体で子供を育てる気運を高めるとともに、教育や子供の育ちに対する経験や知識を次の世代へ伝えていくことが大切であると考えます。

また、図書館をはじめ、各種団体が子供たちの学びを提供しています。町の良いところは、そうした様々なことが、顔が見える距離で連携し合えるということです。

多様な人とつながりながら主体的に学習し、それぞれの得た学びを生かして社会に参画していくことが必要であり、人と人、人と地域がつながり、相互に支え合うことにより、教育の充実と地域の活性化の良い循環を生み出すよう今後も取り組んでいきたいと思っています。



教育長  
今宿綾子